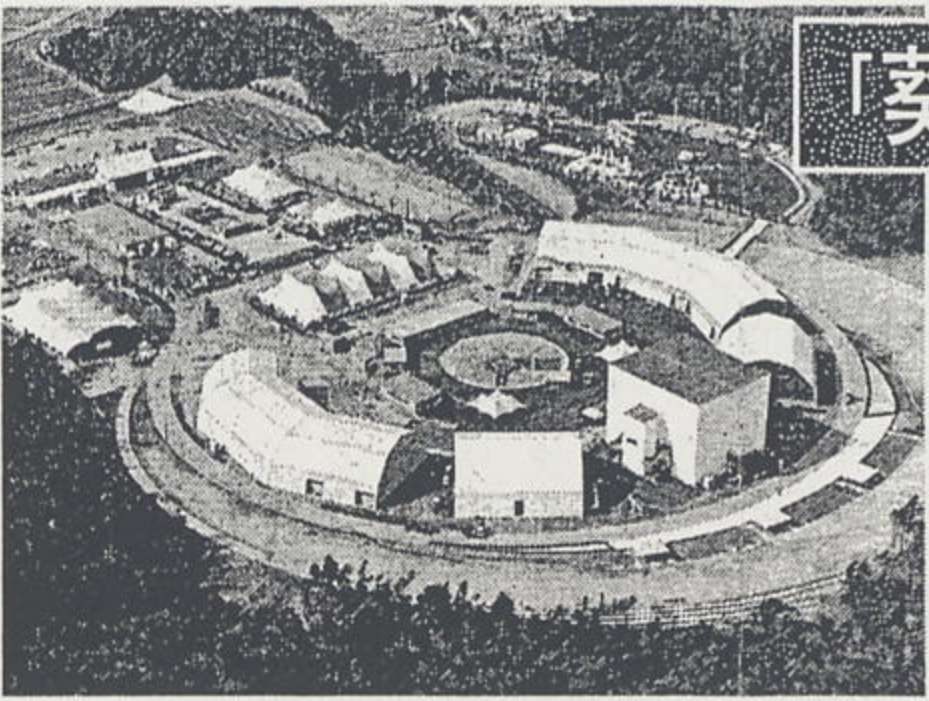


「葵博」イベントにジャズコンサート



岡崎市岡町で建設進む葵博会場、イベント館は左端のテント―本社ヘリ「まなづる」から



「内容には自信があります」と語る内田修さん―岡崎市の自宅

めったに聴けない豪華版

い内田さん。だが「ジャズバンドを率いて演奏するのは名古屋で趣味でやって、これは地方ではまず聴く機会がない。「実は僕も者。まして興行など、さらさらやる気はない」と、地元ではほとんどジャズに関する活動はしていなかった。しかし、引き受けた以上、中途半端にはやれない。「それからは、コンサートなどでミュージシャンの顔を見るたびに、出てくれないか」と声をかけたんです」

山下、森山が共演

岡崎の内田さんメンバー集め

愛知県岡崎市の市制七十周年を記念する「葵博岡崎87」が二十一日から始まるが、その会場内イベント館で計五回のジャズコンサートが開かれる。それも山下洋輔、渡辺香津美、坂田明、佐藤允彦、阿川泰子ら日本のトップ・ジャズメンが顔をそろえる豪華版。これだけのメンバーが集まったのは、同市内の病院長で熱烈なジャズファンの内田修さん(五七)の全面協力があったから。「内容には自信がある。多くの人に聴きにきてほしい」と話している。

「こんな機会はめったにないし、岡崎市への恩返しになればと思っ引き受けた。岡崎に長く住んでるし、病院をやらせてもらってるからね」

日本の一流ジャズメンで、内田さんが付き合っていない人はほとんどいない。中でもピアノの山下洋輔は、最も親しい一人。その山下がまた、葵博のオープン初日に登場する。

森山は、かつて一世を風靡した山下洋輔トリオの一人。気心も知れて仲も良い二人だが、山下は「国内では一緒にやりたくない」との宮沢昭らとの共演など中程を繰り上げて駆けつける実力派ボーカルの伊藤君と佐藤允彦トリオが共演。翌十六日は人気の高い阿川泰子とテナーサクソフォーンを光らせているからだ。



ピアノの山下洋輔



ドラムの森山威男



シュガーボイスで中年を喜びさせる阿川泰子

主な出演者

▽3月21日後2時―山下洋輔&オーケストラ(森山威男、吉野弘志、梅津和時、杉本喜代志、片山広明ら)、ゲスト渡辺香津美

▽5月2日後5時―渡辺香津美MOBIII(グレッグ・グリー、東原力哉)、ゲスト向井滋香、梅津和時

▽同4日後2時―森剣治とインタナショナル・デキシーカンパニー、ジャズラ

▽同15日後1時―坂田明カルテット(吉野弘志、古沢良治郎、広木光一)、佐藤允彦トリオ(桜

井郁雄、日野元彦)。ゲスト宮沢昭、峰厚介、伊藤君子、宮沢昭オールスターズ(西条孝之介、鈴木宏昌、稲葉国光、小津昌彦)

会場

岡崎市岡町上権現。名鉄電車美合駅から直通バス運行。入場料は大人千円、中高生五百円、小学生三百円、幼児(三歳以上)二百円

問い合わせは、葵博事務局 0564(23)6170

なんでもスタジオ